

2 基本目標

基本理念に基づくまちづくりを実践し、市民が魅力を感じるまちを実現していくために、次の6つを本市の目指すまちづくりの基本目標とします。

① 挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり

人口定住に結びつく持続可能な経済活動の実現に向け、先端技術産業をはじめとする本市の多様な産業の発展とともに、これまでにない発想に基づき^{*}内発型産業を創出するなど、新しい産業や雇用を生み出していく、人もまちも挑戦し続ける活力ある産業のまちを目指します。

② 郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり

本市の持つ豊かな教養を育む環境と城下町としての歴史と文化を積極的に活用し、郷土に対する愛着と誇り、チャレンジ精神を持ち、本市の将来を担うことができる様々な分野で活躍する人材が育つ、教育と文化のまちを目指します。

③ 子育てと健康長寿を支えるまちづくり

保健、医療、福祉等が連携して市民の健康寿命の延伸を図るとともに、若い世代が安心して子どもを生み育てられ、高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で生きがいを感じながら暮らし続けられる環境を整備し、子育てと健康長寿を支えるまちを目指します。

④ 自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくり

森林や河川、地下水の保全、ごみの減量化や資源化等を推進することにより環境にやさしいまちづくりを進めるとともに、^{*}コンパクトなまちづくり、城下町としての景観等の保全、交通機関等の整備を図り、自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちを目指します。

⑤ 安全安心に暮らせるまちづくり

防災、防犯、消防体制の整備等、災害や犯罪への備えを強化するとともに、冬期

【用語解説】 * 内発型産業 ⇒ p169 参照 * コンパクトなまちづくり ⇒ p166 参照

間においても円滑な市民生活が送れるよう雪対策に取り組むことにより、安全安心に暮らせるまちを目指します。

⑥ 持続可能なまちづくり（協働・行政経営）

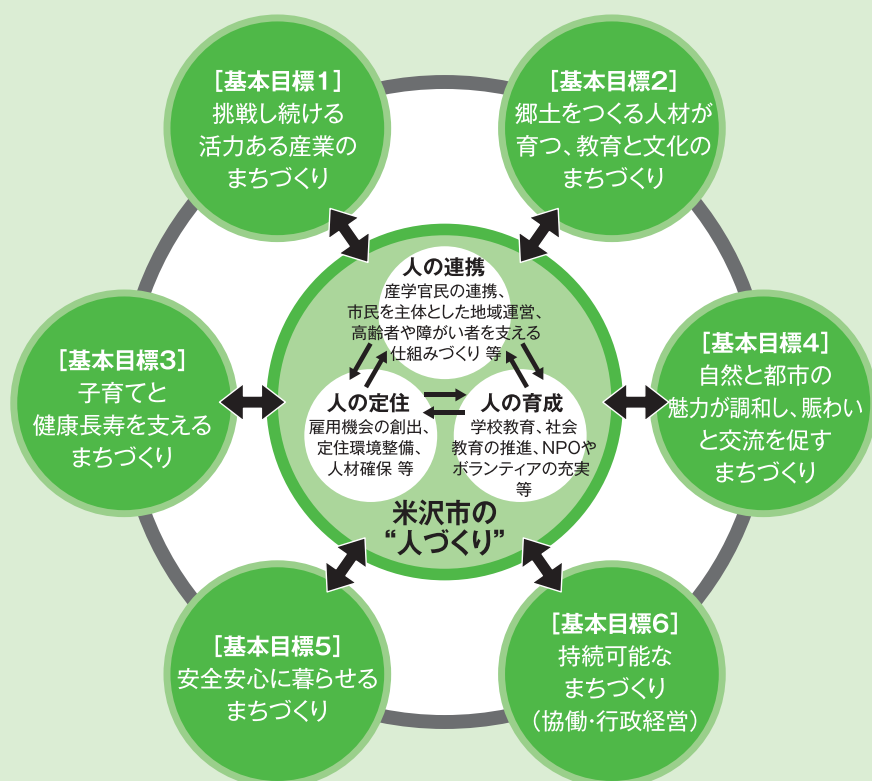
市民一人ひとりの活力を地域づくりに発揮できる協働によるまちづくりを推進するとともに、健全な財政基盤づくりと多様化する市民ニーズに的確に対応した行政サービスを提供できる体制づくりを行うほか、幅広い分野で近隣自治体との広域的な連携を図り、持続可能なまちを目指します。

図表 将来像・基本理念・基本目標

将来像 ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢

基本理念 市民が積極的に参加するまちづくり

市民が魅力を感じるまちづくりを推進するために
（人づくりを中心としたまちづくりの推進）

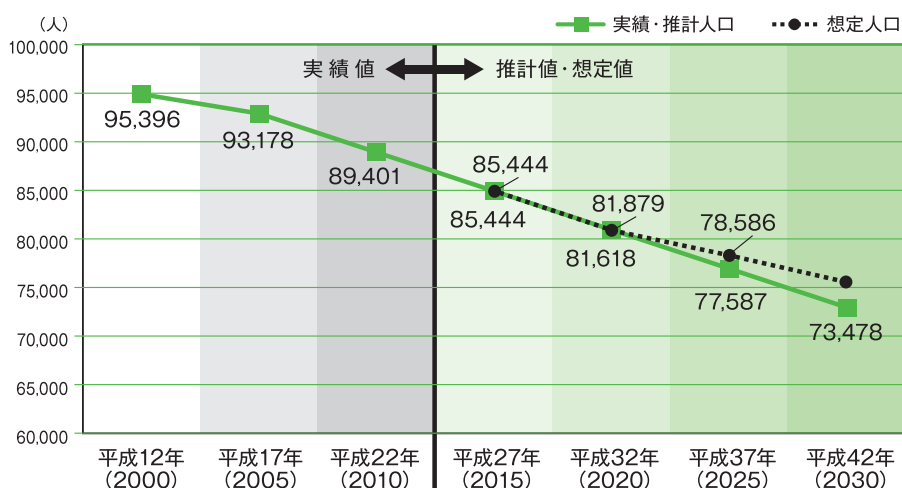


1 将来人口の見通し

本市の将来人口は、国（国立社会保障・人口問題研究所）が平成25年3月に行った推計によれば平成32年には81,618人となり、10年後の平成37年（2025）年の人口は77,587人とされています。

本市では、まちづくりを担う人づくりとともに、魅力ある都市環境の整備、雇用の場と就業機会の拡大、安心して子どもを生み育てることができる環境の整備等、転入者の促進と転出者の抑制、*合計特殊出生率の向上のための様々な施策に取り組むことにより、平成37年の想定人口を推計値と比較して約1,000人増の78,600人と見込みます。

図表 人口推移（平成12年（2000年）～平成42年（2030年））



（注）1 平成22年までは国勢調査値

2 平成27年以降の推計値は国立社会保障・人口問題研究所推計値

3 想定値は国立社会保障・人口問題研究所推計値を基に合計特殊出生率が平成32年までに1.6、平成37年までに1.8まで回復するとして算定

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

2 市街地形成の基本的方向

中心市街地は、これまで多くの商店街を形成し、鉄道駅や主要なバス停留所等の交通結節点機能を有し、地域経済の中心的な役割を果たしてきました。

しかしながら、車社会の浸透に伴いロードサイド型の店舗が郊外に相次いで進出してきたことと中心部の大型小売店舗の撤退が重なり、また消費者ニーズの多様化から、その活力や求心力が低下し空洞化が進行しています。

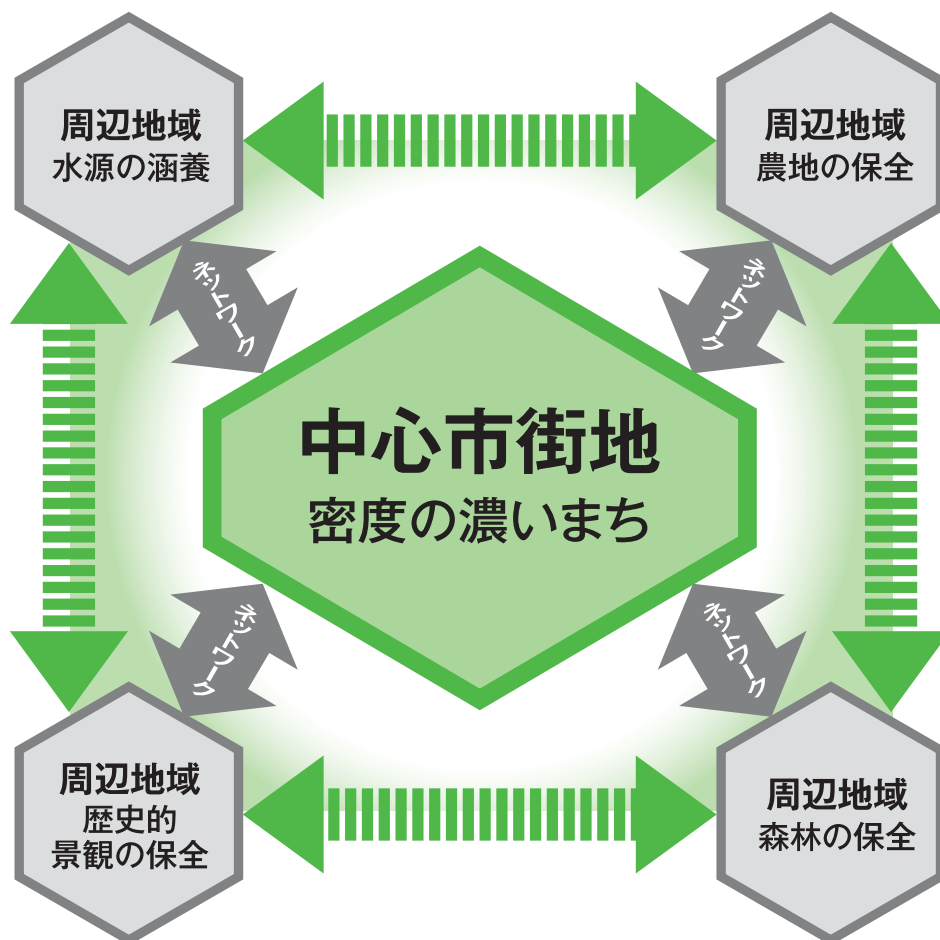
このような状況は、本市の人口減少が避けられないことが想定される中、都市基盤の整備や維持管理費用の増加、*コミュニティ力やまち全体としての活力の低下等の様々な問題を生じさせることになります。

今後、適切な公共サービスを維持し、高齢者も含めた多くの人が暮らしやすいまちを形成するためには、既存の都市機能を有効活用しつつ、中心市街地に多様な機能が集積する密度の濃いまちづくりをする必要があります。

一方で、周辺地域は、恵まれた自然環境による水源の涵養、地球温暖化の防止、木材等の林産物、農産物の供給、さらには、歴史的景観等の多面的な機能を持っており、都市全体の機能を維持するために重要な役割を担っています。

そこで、中心市街地に都市機能を集積させるとともに周辺地域の特徴を活かしたまちづくりを推進するため、中心市街地と周辺地域との相互連携を図る公共交通等のネットワークの形成を促進し、*コンパクトなまちづくりを進めていくことを今後の市街地形成の基本的方向とします。

図表 市街地形成の基本的方向



【用語解説】 * コミュニティ ⇒ p166 参照 * コンパクトなまちづくり ⇒ p166 参照